

田原本町立東小学校 学校だより

一明るく、楽しく、元気な学校一



「ひがしっ子」
・ひとにやさしい子
・がんばって学ぶ子
・しなやかにたくましい子

成長の土台となる豊かな体験を この夏休みに！

夏休みは、いつの時代も子どもたちが心待ちにしています。私たちもかつてそうでした。虫取りに川遊び、夕涼みに夏祭り、お金をかけなくても自然や地域のよさに触れることのできる絶好の機会でした。そのような中から、遊びを知り、ルールを覚え、人の痛みを感じ、なかまと協調することを学んでいきました。また、生き物を大切に作る心、美しいものを感じる感性などをはぐくんできました。ところが今、このような体験が不足し、以前は外遊びや地域の大人たちとの触れ合いを通して自然と培われてきた、生きていく上での土台となる部分の体験の不足が言われています。

「青少年の体験活動に関する調査研究結果報告（文部科学省）」では、小学生の頃に体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験）や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、その後、高校生の時に自尊感情（自分に対して肯定的、自分に満足しているなど）や外向性（自分のことを活発だと思ふ）、精神的な回復力（新しいことに興味を持つ、自分の感情を調整する、将来に対して前向きなど）といった項目の得点が高くなる傾向が見られたとのこと。

また、経験した内容（体験活動や読書、遊び、お手伝い）によって影響が見られる意識や時期が異なることから、一つの経験だけでなく、多様な経験をすることが必要であるということも見えてきています。

学校でも、普段の学習の中で、子どもたちの体験を重視した取組や機会を工夫しています。

毎年、夏休みは巡ってきますが、二つとして同じ夏休みはありません。「今年こそはこれを」といった体験を子どもたちと取り組んでいただけると幸いです。

9月1日には、心と体に自信とエネルギーと夢をいっぱいに貯め込んだ子どもたちが、学校に戻ってきてくれることを楽しみに待っています。長期の休みになりますが、健康や安全に十分気を付けてお過ごしください。

** 学校閉庁日について **

町教育委員会より「夏期休業中の8月11日～15日の5日間を学校閉庁日とする」という通知がありました。その間、学校に入ることはできず、対応等については、町教育委員会が担います。緊急

全校わくわく畑の活動は、東小学校の大切な体験学習です。サツマイモがすくすくと育っています。



性のある場合は、そこから学校関係者等に連絡が入ることとなります。

保護者の皆様におかれましては、御理解御協力を賜りますようお願いいたします。

【学校閉庁日の緊急連絡先】

田原本町教育委員会 0744-34-2074 [教育総務課] 8:30~17:15

※8/11(月・祝)を除く

みんなで考えよう、東小学校のこれから

日本の小学校の仕組みは昭和22年、1947年から始まりました。今年、2025年ですから、78年（約80年）前からです。けれども、現在、学校の仕組みは、昔のままの学校で本当によいのだろうか、という声が日本中のいろんな所から出てきており、耳に入るところです。

ちなみに、東小学校は、昭和37年、1962年に生まれました。今年63歳です。最近、統合に向けて、備品や資料の整理が始まりましたので、古い記録に触れる機会がよくあり、見ていると、残っている一番古い記録の東小学校の目指す学校像が、「活気があり、明るく楽しく登校できる学校」でした。これは、現在の「明るく楽しく元気な学校」とほぼ同じです。なぜか？学校で育てたい幸せの根っこは、昔も今も変わらないからです。

何十年も前から変わらぬ目標を掲げながらも、みんなの未来をより良いものに変えていくには、その時代や状況に合わせ、方法に工夫を加えていくことが必要です。今年、東小学校の全ての子どもたちを真ん中に置いて、その周りの人たちも一緒に幸せに向かっていく方法として、私たちは教科担任の良さを取り入れた一部チーム担任制に取り組みたいと思いました。これを行う学校は多くありますが、どの学校も同じ方法ではありません。本校の実情としては、町内で一番児童数の少ない学校となり、現在52名です。今後も児童数が減り、複式化も予想される中、子ども達一人一人へのきめ細やかな指導と共に協働的対話的な学びを充実させるために実施しています。また、北小学校と、遊んだり学習したりすることも、統合に向けての交流というだけでなく、協働的な学びやコミュニケーション力を高める効果を願って取り組んでいます。

少しずつ試しながら思うのは、確実に人と人との関係性や物事への捉え方が変わってきているということです。例えば、挨拶などの日常の声掛け。今まで担任の先生に向けてがほとんどでしたが、学校内のいろんな立場の人に挨拶する子が増えてきたと感じます。教員も、自分のクラスの子が中心だったのが、より広くいろんな子どもたちに声をかけるようになってきました。チーム学年をこえたつながりも生まれています。放課後、共通した取組や子どもたちの話題に花が咲いている職員室を見るのもうれしいです。みんなで関わるということは、人が多いと喜びは倍増するし、辛いことや困ったことはみんなで分かち合える良さがあると思います。

保護者の皆様におかれましては、ここはいいところだな、こんなふうにするほうがいいんじゃないかな、と前向きに聞いていただき、共に知恵を出し合ってより良い学校の仕組みを考えてもらえるとうれしいです。一学期の取組に、ご理解とご協力いただき心より感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

